

昭和54年度第2回シグマ研究委員会運営委員会議事録

日 時 昭和54年7月10日(火) 13:30 ~ 18:30
場 所 原研本部第11会議室
出席者 塚田(委員長, 日大), 大竹(動燃), 中嶋(法大), 関(MAPI),
飯島(NAIG), 久武(東工大), 松延(住友原工), 桂木, 更田,
原田, 田中, 五十嵐, 菊池(康)(原研)
オブザーバ: 浅見(哲)(原研)

配布資料

1. 前回(54. 4. 10)議事録(案)
2. 本委員会(54. 5. 11)議事録(案)
3. 1979核データ研究会
4. CINDA追加配布案
5. 54年度旅費使用計画案
6. JENDL-2の進行状況
7. NNDC Newsletter No. 79-2
8. シグマ委員会2年報(案)
9. Regional Conference について(菊池)

議 事

1. 核データセンター室長の交代について
塚田委員長より, 6月1日付の人事異動で核データセンター室長が更田委員から田中委員に変更になったことがアナウンスされた。
2. 議事録確認
資料(1)により前回運営委議事録の確認, 資料(2)により前回本委員会議事録の確認を行った。
3. NEADC の topical discussion について

田中委員より、GeelでのNEANDCの topical discussionの abstract 作成のために事務局より各委員に依頼状を発送した。事務局でまとめて返事を出す予定であるとの説明があった。

4. 核構造関係の研究会について

久武委員より、資料(3)をもとに世話人会での討議結果について説明があった。ORNLのMartin氏によるトレーニング・セミナーは12/3～7に行い、研究会は12/10～11に約80名の規模で行う予定であることが紹介された。引き続き世話人会で検討を行うことにし、世話会に浅見(哲)氏が加わることになった。

5. JENDL-2の進捗状況

菊池委員より、資料(6)にもとづいて説明があった。重核5核種及びCr、Fe、Niについてはファイル化がほぼ終了した。

6. ガンマ線生成断面積WGについて

浅見(哲)氏よりこのWGの進行状況及び討議結果等について報告があった。また、北沢委員より提案のWG名称の変更について討議を行い、名称をガンマ線生成核データWG(Working Group on Nuclear Data for Photon Production)とすることにした。

7. CINDA配布リスト

田中委員より資料(4)により説明があった。

8. 学会特別会合

松延委員から特別会合のテーマについての意見が求められ、討議の結果Fissionを中心にすることにし、ユーリッヒの国際シンポジウム及びハワイ会議の話題をとりあげることにした。

9. NNDC Newsletterについて

飯島委員から資料(7)によりENDF/B-Vの公開に関する情報について説明があった。この解釈をめぐる議論が行われたが、NEANDC会合のときに委員長から質してもらうことにした。

10. 学会2年報について

飯島委員より資料(8)にもとづき構成等の案について説明があった。とく

に、トピックスのまとめ方について議論があった。編集担当者から各執筆担当者に依頼することになった。

11. 国際機関の委員について

塚田委員長より、NEANDCについては委員長が継続すること、INDCについては更田委員から原田委員へ変更する。NEAデータ・バンクについては更田委員から田中委員へ変更することが提案され、各委員の役割について討議が行われ、暫定措置として了承された。

12. NEAデータ・バンク会合の報告

更田委員より、NEAデータ・バンク委員会会合(5/31～6/1)の報告が行われた。

13. 原子力シンポジウム

原子力シンポジウムに提案する核データ関係のテーマについて討議を行い、Post INFCE, 安全性, Spallation 等の案が出た。田中委員を窓口にしてこれらをまとめ、学会の企画委(松延, 大竹委員)へ意見を出すことにした。

14. 委員会旅費

事務局より資料(5)にもとづき計画案の説明があった。

15. Regional Conference について

菊池委員から資料(9)により前提条件, 基本方針等の試案の説明があった後, 討議を行った。基本的な考え方, Regional の意味等についての質疑応答の外, 主な意見として

- やるとしても小会議にならざるをえない。
- 粗案を出して除々に外部の意見を集約する必要がある。
- 予算の裏付けをしないと無理である。
- シグマ委だけでやるのは無理である。

等々が出された。この件は継続審議とすることにした。

次回は8月24日(金) 13:30より東海研で行う予定